



地域に根差して53年 since 1969

Hatta Medical News

2025年7月号



糖尿病のある方、必見！ 神経合併症は、大丈夫？

梅雨明けが待ち遠しい時期ですね。7月後半にこのニュースを手にする方は、もう明けてるで～、と思われる方も多いと思いますが、この記事を書いている、6月下旬は、まだ梅雨真っ只中なのです。今年の梅雨は梅雨入り宣言後に、カンカン照りの日が続き、熱中症の方が大勢いらっしゃいました。暑さの初期に多い熱中症は気温や室温だけでなく、湿度も大きく影響します。皆様、引き続き予防対策をお願いします。

さて、当院では、糖尿病の合併症である神経障害をチェックする検査を7月から始めます。とても重要な検査なので、糖尿病をお持ちの方は、必ずご一読ください。

スタッフ紹介は、7月中旬に退職される受付の森さんから退職にあたってのご挨拶、そして、昨年から入職された腎臓病療養指導士を目指す看護師の綾子さんです。

7,8,9,10月休診

7/11 一郎休診

7/18-19 院長、ふゆこ休診（医院は診療しています）

8/10-17 お盆休み

10/18(土) 院長休診



糖尿病の合併症

糖尿病は様々な合併症があると言われています。3大合併症として、網膜症・腎症・神経障害が知られています。私は、患者さんには、しめじと覚えて下さいとお伝えしています。し：神経障害、め：眼合併症（網膜症や白内障）、じ：腎臓病（人工透析）です。基本的には、しめじの順番に合併症が出ますので、神経障害は、糖尿病をわずらってから最初に出始める合併症と言えます。神経障害の中でも、進行が早い末梢神経障害は、まったく自覚症状を伴わない場合も多く、治療をしないまま放置しておく、足の潰瘍や壊疽など重篤な事態にもつながります。最悪、足の切断に至るケースもあります。早期のチェックが重要です。糖尿病性神経障害



のことを、英語でDPN (diabetic peripheral neuropathy) と言います。DPNという言葉をお聞き、覚えておいてください。では、DPNを検査することはできるのでしょうか？できます！それが、これから紹介するDPNチェックです。

DPNチェッカー導入！

糖尿病による末梢神経障害を検査することが出来るのが、今回、八田内科医院で初めて導入した**DPNチェッカー**です。この検査は、末梢の感覚神経の一つである腓腹（ひふく）神経に電気刺激を与え、神経に興奮が伝わる速度（神経伝導速度）と大きさ（活動電位振幅）を測定し、DPNの程度を簡便に検査する神経伝導検査装置です。

測定は、本体をくるぶしの付近に当てて、数秒間神経を刺激します。実際の測定時間は約10～15秒。神経伝導速度と振幅を測定します。院長を含め、ふゆこ先生、複数のスタッフが、練習のために被験者になりました。



感じ方は人によって異なりますが、実際に受けた感想として、神経に多少の電気を流すので、神経を刺激される間隔、びりびりとした感じがします。ふゆこ先生は、痛い！と言っておられました。糖尿病で神経障害のある方は、感じ方が鈍いかもしれませんが、まずは糖尿病の方は、全員検査をさせて頂こうと思っています。検査点数は、530点、つまり1割負担の方で530円かかります（3割の方は、1,590円）。大事な検査なので、皆さん、積極的に受けて頂き、早期に発見、早期に対応しましょう！

スタッフだより 綾子さん（看護師）



初めまして、シュマッカー綾子と申します。2024年10月から勤務の方に加わりましたので、すでにお会いしたこともあるかもしれません。

今までは主に糖尿病看護に携わっていました。その中で腎臓の大切さに気づき、どのように腎臓を守っていきけるかということに関わっていきたいなぁと長いこと思っていたところ、この度ご縁あってチームエンジンに仲間入りさせて頂くことになりました。腎臓は沈黙の臓器です。だからこそ、疾患の進行ができるだけ緩やかであるように、腎不全に移行しないように、また透析などの腎臓に変わる手段が必要になったとしても、それと共にできるだけいつもの生活を続けていけるようにそのために私がお手伝いできることはなんだろう、といつも考えています。

医療者は日々患者さんと出会うことで学びの機会を頂いています。それをお返しするためには患者さんの想いをきき、できる限りの伝えられることはお話ししたいと思っておりますので、お身体のこと、心配なことなど、どうぞ安心してご相談くださいね。どうぞよろしくお願いいたします。

スタッフだより 森 真美さん（受付）



受付の森真美です。この度丸14年お世話になった八田内科医院を退職することになりました。

以前もスタッフ便りで書かせていただきましたが「私」の人生においては私が主人公で、残りのページがどれだけ残っているかはわかりませんが、ここでの章に区切りを付け次の新しい章に進みたいと思

っています。先生方、スタッフの皆さん、そして患者さん達のおかげでここまで勤めることができました。本当にありがとうございました。修学院在住なので、これからも色々な場所でお会いすることがあると思います。その時に森真美がどう変わったのか？変わっていないのか？確かめて下さい（笑）皆さんもご自身の物語を素敵なものにして下さいね…。

第2回 腎臓病教室 開催日決定！

今年4月から始まったチームエンジンによる糖尿病あるいは慢性腎臓病透析予防の取り組み、実際に受けられた方が多いのではないかと思います。

昨年10月も開催しましたが、今年も腎臓病教室を開催することになりました。今回もハイブリッド開催、つまり現地で40名程度、あとはWEB(ZOOM)で参加して頂きます。今回から、通院中以外の方も自由にご参加



頂けますので、お知り合いの方で腎臓病でお困り方などにもお伝え頂ければ幸いです。

期日：2025年10月25日（土）午後3時から

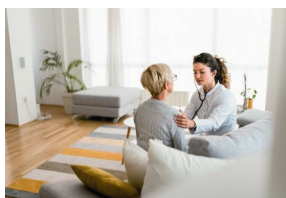
会場：八田内科医院 待合室

開催形式：ハイブリッド開催（会場＋WEB）

申込方法：2025年8月1日から受付開始

申し込み方法は院内あるいはホームページに掲載します。皆様、ご予定ください！

訪問診療開始のお知らせ



今年4月から、一郎先生の時代にもされていた訪問診療を再開しました。今年4月から副院長として赴任された門浩志先生と院長が、ご自宅に診療に参ります。

往診と訪問診療は異なります。訪問診療は、1～2週間に一度の頻度で定期的にご自宅に伺って、診療することを指します。一方で往診というのは、急なご病気で、救急車を呼ぶほどではないけども、診察が必要な場合に対応する、臨時的診療のことを指します。

長年通院されたけども、足腰が弱ってきて、医院に来るのがとてもつらい状況になった方、また長期に入院して、元気になるまでの間だけでも、訪問診療に来てほしいという方もお引き受けします。訪問診療日は主に水曜日のお昼から夕方にかけての時間帯です。それ以外の曜日も相談に応じます。ただし、通常の外来診療とは異なり、医療費は高くなります。ご希望の方は、医師、スタッフにご相談ください。また、急な往診についても、医師が行ける状態であれば、ご自宅に伺うことも可能です。まずは、お電話でご相談下さい。なお、当院の受付時間外にはお引き受けいたしかねますので予めご了承ください。